

**みんなで作るみんなの郵便局「丸山郵便局」が「ウッドデザイン賞 2022」  
ソーシャルデザイン部門 奨励賞（審査委員長賞）を受賞**

日本郵政株式会社（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 増田 寛也）および日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長兼執行役員社長 衣川 和秀）は、環境に配慮した郵便局（「+エコ郵便局」）の第1号店舗として開局した丸山郵便局（千葉県南房総市）で、このたび、ウッドデザイン賞 2022（主催：（一社）日本ウッドデザイン協会）のソーシャルデザイン部門において、奨励賞（審査委員長賞）を受賞いたしましたのでお知らせします。

**■ウッドデザイン賞とは**

木の良さや価値を、デザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究などを募集・評価し、表彰する顕彰制度です。

8回目の開催となる今回は、330点の応募作品の中から188点の受賞作品が決定しました。さらに最終審査を経て、「木の活用による社会課題の複合的な解決をもたらし、イノベーション・新産業創出に寄与する作品」として最優秀賞（農林水産大臣賞、経済産業大臣賞など）4点、優秀賞（林野庁長官賞）9点、奨励賞（審査委員長賞）15点と、上位賞28点が選出されました。

**■授賞理由（審査員のコメント）**

地域住民とともに参加型のプログラムを採用しながら、木造化を実現したアプローチは自分事化の好例である。郵便局という地域密着かつ店舗数の多い社会インフラがこうした取組を推進する意味は大きい。



&lt;外観写真&gt;



&lt;表彰式の様子&gt;

丸山郵便局は、「みんなで作るみんなの郵便局」という設計コンセプトのもと、局舎の屋根や壁の一部などに CLT を使用して建設した木造郵便局で、環境に配慮した郵便局（「+エコ郵便局」）の全国第1号店舗です。

局舎外壁には、日本の伝統的な外壁材である「焼杉材」を使用しました。この焼杉材は、地元の子どもたちと一緒に「焼杉製作ワークショップ」で焼き上げたもので、千葉県産の杉板を使用しています。

局舎内部のベンチなどにも CLT を使用し、建物の内外ともに木を感じられる郵便局となっています。

日本郵政グループは、今後も郵便局ネットワークを活用した地域のカーボンニュートラル化について、推進してまいります。

※ CLT：クロス・ラミネイティッド・ティンバー

長い板状の木材を縦横交互に張り合わせた厚型のパネルで、強度や断熱性に優れており、コンクリートや鉄に比べて CO2 の発生を抑制。